

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」学部別履修モデル

学部名: 医学部(看護学科) 1/1

教養教育
1年次以上対象
2年次以上対象
3年次以上対象
4年次以上対象

想定対象学生: 1~4年生
修得単位合計: 15
修了レベル: リテラシーレベル
履修モデルタイトル: 看護に生かすデータサイエンス
当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容: ・看護の対象となる人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程を社会的条件の中で系統的かつ予測的に分析するために必要なデータの収集方法や収集した利活用の方法 ・看護の対象となる人々の生活と健康に関わる社会システムおよびヘルスケアシステムに変化をもたらさう看護の社会的責務を理解するためのデータの利活用の重要性 ・看護の対象となる人々、ならびに個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ(共同体)の看護診断・計画・実践・評価と数理・データサイエンス・AIの密接な結びつき

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位
4年	総合実習	[オ8]	2	2
4年	地域看護学実習	[オ8]	3	3
3年	疫学・保健統計	[オ1]	1	1
3年	地域看護方法論 I	[5][オ8]	2	2
3年	ヘルスケアシステム論	[オ1][オ8]	2	2
3年	生命倫理学	[オ9]	1	1
2年	公衆衛生学	[2]	1	1
2年	行動科学	[オ9]	1	1
1年				

想定対象学生: 1~4年生
修得単位合計: 専門必修科目13単位と教養教育科目2科目4単位以上を選択すること
修了レベル: 応用基礎レベル
履修モデルタイトル: 看護に生かすデータサイエンス 応用基礎レベル
当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容: ・看護の対象となる人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程の分析の、自然科学の基盤に基づいたデータの収集方法や収集した利活用の方法 ・看護の対象となる人々の生活と健康に関わる社会システムおよびヘルスケアシステムと看護の社会的責務の、社会科学の基盤に基づいたデータの利活用の重要性 ・看護の対象となる人々、ならびに個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ(共同体)の看護過程の、情報処理・数学の学際的基盤に基づいた数理・データサイエンス・AIの密接な結びつき

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位
看護必修				
4年	総合実習	[オ8]	2	2
4年	地域看護学実習	[オ8]	3	3
3年	疫学・保健統計	[オ1]	1	1
3年	地域看護方法論 I	[5][オ8]	2	2
3年	ヘルスケアシステム論	[オ1][オ8]	2	2
3年	生命倫理学	[オ9]	1	1
2年	公衆衛生学	[2]	1	1
2年	行動科学	[オ9]	1	1
看護選択				
3年	最先端医療と看護	[オ5]	1	1
3年	助産学ゼミナール	[オ1]	1	1
教養選択				
1~4年	地域の経済と社会・文化	[2][3][オ8][オ9]	2	2
1~4年	自然と情報の数理	[オ1]	2	2
1~4年	社会と情報の数理	[2][3][オ1][オ9]	2	2
1~4年	コンピュータの話	[1][2][3][4][オ1][オ2][オ3]	2	2
1~4年	線形代数学	[オ1]	2	2
1~4年	自然現象のモデル化とその解析	[オ1]	2	2
1~4年	脳科学入門	[1][オ9]	2	2
1~4年	応用情報処理	[1][2][3][5][オ2][オ3]	2	2

必修 「情報処理-B」 内容番号:[1][2][3][4][5][オ1][オ3][オ7] 単位:2